

平成28年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月25日実施)	総合評価(3月31日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策(案)		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>① 基礎学力や思考力・判断力・表現力を育むための、柔軟なカリキュラムを策定する。</p> <p>② 生徒の主体的・協働的学びを引き出す授業改善に取り組む。</p> <p>③ 特別活動を充実させ、主体性・社会性と自己肯定感を高める。</p>	<p>① ガイダンス期間を設定し、生徒理解を進める。</p> <p>① 基礎学力定着のための習熟度別学習を広げる。</p> <p>② 授業のねらいを明示して振り返りを行い、学習活動を工夫する。</p>	<p>① 早い時期に個別指導が必要かどうかを判断し、取出し授業や個別指導を行う。</p> <p>① 基礎学力と学習習慣を定着させるための1年生のモジュール授業をさらに発展させ、2年生の授業を習熟度別に行う。</p> <p>② 授業時に本時のねらいを明示し、振り返りを行うことで生徒の理解度を確し、主体的・協働的に学べる学習活動を工夫する。</p>	<p>① 個別指導が必要な生徒に早期に対応ができたか。</p> <p>① より効果があるカリキュラムを作成することができたか。</p> <p>② 授業時に本時のねらいを明示し、振り返りを行うことができたか。</p> <p>② 生徒が主体的・協働的に学べる学習活動ができたか。</p>	<p>① 今年度はモジュール授業の最後の時間に確認テストを行うことで基礎学力定着の達成状況を生徒とともに教員側も把握することができ早期に個々の対応ができた。</p> <p>① 数学の授業で2年生まで習熟度別授業を行い、生徒の状況を見ながらより効果的なカリキュラムが作成できた。</p> <p>② ねらいを板書し、授業の最後にそのねらいを示すことで振り返りを行い、主体的・共動的な学びを工夫することができた。</p>	<p>① 様々で多様な生徒が在籍しているため、すべてを網羅できる対応ができない。数学だけに限らず、他の教科も習熟度別授業やその中でも取り出さざるを得ない生徒の各教科で把握する。</p> <p>② 教科によっては授業の流れによってねらいを明確にすることができない。しかし、生徒がこの時間に何が達成できたのか分かるような授業を工夫する。</p>	<p>・一人ひとりの学力の差が大きい中で、個々の状況や課題に対応した手厚い指導が行われている。</p> <p>・習熟度別学習は評価できる。生徒の評価も高い。</p> <p>・授業のねらいを黒板に書き、最後まで生徒に見えるようにすることはとても良い取組である。</p>	<p>① モジュール授業をはじめ、授業の最後の時間に確認テストを行うことで生徒も教員も学習の達成状況を把握できるようになった。</p> <p>② 今後、授業の振り返りを効果的にさせる工夫が必要である。</p>	<p>①② 多様な生徒への個別対応は継続して行っていく一方、高校卒業時に社会に出ていくために必要なコアの教育についても学校全体で取り組んでいく。</p>
2 生徒指導 ・支援	<p>① 個に応じた支援体制を充実させる。</p> <p>③ ルール・マナーを尊重する態度を育成し、規律ある学習環境と生徒が安心できる学校環境を整える。</p>	<p>① 生徒一人ひとりの情報を教職員全員で共有し、個別の支援体制を充実させる。</p> <p>② ルール・マナーや交通安全を尊重する態度と規律ある学習環境を構築し、生徒が安心できる学校環境を整える。</p>	<p>① 定期的にケース会議を行い、研修会を充実させる。</p> <p>① 生徒の日常の様子、出席状況をきめ細かく把握し、保護者への連絡を密にとる。</p> <p>① 面談週間を各学期に設定し、本人・保護者の相談に対応する。</p> <p>② 日常的な巡回指導により、生徒との信頼関係を構築するとともに、安全・安心な校内環境を築く。</p> <p>② 授業や学校行事など、様々な場面で規範意識や安全・健康の保持増進に対する意識を高める工夫を織り込む。</p>	<p>① 教職員全員で生徒情報を共有し、個別の支援体制を充実させることができたか。</p> <p>① 保護者との協力関係が築けたか。</p> <p>② 問題行動が減少したか。</p> <p>② 生徒の規範意識・安全意識が向上したか。</p>	<p>①職員会議毎にケース会議を実施し、全職員で生徒情報を共有できた。SSWなどに職員対象の研修会を実施していただいた。学期末の面談が定着し、多くの保護者と協力関係を築けた。</p> <p>②日常的に職員が巡回指導を行うことで問題行動が減少し、外部からの苦情も減った。大運動会という初めての行事を生徒とともに立ち上げることで生徒に達成感を味あわせることができた。</p>	<p>① 連絡の取りづらい家庭などとはSSWやSCと連携して対応していきたい。</p> <p>② 生徒会を中心に挨拶運動などを実施することや、生徒中心に行事を行わせことで規範意識の向上を図る。</p>	<p>・教員がお互いに連携して指導することで成果を上げている。</p> <p>・ケース会議での情報共有は大変良い取組であり、今後もさらに進めていってほしい。</p> <p>・SSWやSCを積極利用することが必要である。</p>	<p>① 職員の打ち合わせや職員会議において生徒の情報共有を進めてきた。ケース会議を職員会議ごとに実施し、指導方法の共有を図った。</p> <p>② 問題行動は減少し、規範意識も少しずつ向上している。</p>	<p>① 今後、SSWやSCとの連携をさらに深め、支援体制を充実させていく。</p> <p>② 卒業後の進路につながるために職員一丸となってルール・マナーの向上を指導していく。</p>

3	進路指導・支援	<p>① 生徒の進路意識を高め、進路希望に向けた指導の充実を図る。</p> <p>② 学習指導・生徒指導と進路指導のリンクを図る。</p>	<p>① 早期に適切な職業意識を持たせる。</p>	<p>① 1～4年生に対する多様なガイダンスを企画・運営し、生徒の進路に対する意識を向上させる。</p>	<p>① 生徒の進路に対する意識を向上させることができたか。</p>	<p>① ホームルームや総合的な学習の時間等で多様な進路ガイダンスを実施した。卒業予定者で早くから進路が決定する生徒もいたが、決定しないまま卒業していく生徒も少なからずいる。</p>	<p>① 様々な困難を抱えている生徒も在籍するため、スクールメンターや外部機関などと連携し、個々に対応した進路指導を行う必要がある。</p>	<p>・授業やホームルーム、総合的な学習の時間など、様々な機会をとらえて、生徒の進路意識を深める取組が行われている。</p>	<p>① 多様なガイダンスやきめこまかな面談をとおして、生徒の進路意識を高める取組を行ってきた。</p>	<p>① スクールメンターや外部機関等も効果的に活用し、個々の生徒に対応した進路指導を充実させていく。</p> <p>① 学習指導や生徒指導を進路指導につなげる取組をさらに進めていく。</p>
4	地域等との協働	<p>① 地域との連携を深め、地域に信頼される学校づくりを進める。</p> <p>② 教育活動における地域連携を推進する。</p>	<p>① 地域に貢献する活動を推進し、地域に信頼されるような取組を進める。</p>	<p>① 地域貢献活動で地域の清掃などを行う。</p> <p>① 外部教育力を活用し、教育活動を効果的に展開する。</p>	<p>① 生徒が自己肯定感を高めることができたか。</p>	<p>① 9月に文化祭を実施し、学年の枠を超えてグループをつくり、食品販売から校内案内板製作まで幅広い活動を行った。学校周辺の清掃活動中に地域の方から声をかけていただいたことで生徒が自己肯定感を高めることができた。</p>	<p>① 部活動や委員会単位でも地域の清掃活動に取り組むことによって地域貢献の機会を増やしていきたい。</p>	<p>・地域の中で貢献する活動は、生徒の自己肯定感を高めることにつながる。時間的な制約はあると思うが、生徒が自らの有用感を深めるためにも、地域との協働の機会を検討してほしい。</p>	<p>① 文化祭では学年の枠を超えた出し物を行い、地域からの来校者と触れ合う機会をつくることができた。</p>	<p>① 清掃活動など地域でできる活動を検討し、生徒の自己肯定感を高める取組を進める。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>① 安全、安心な学校づくりを推進する。</p> <p>② すべての教員が教育課程の変化と課題に積極的に取り組む学校運営を行う。</p>	<p>① 安全、安心な教育環境の整備を進める。</p> <p>② 学校運営の課題把握と改善の見える化を図る。</p>	<p>①② 情報収集と分析を行い、解決方法を検討・策定・遂行する。</p>	<p>① 課題等の分析を行い、具体的な解決方法を検討することができたか。</p> <p>② 事故・不祥事ゼロプログラムを効果的に実施し、事故防止が図れたか。</p>	<p>① 学校安全計画を示し、安全、安心な教育環境の整備について確認した。</p> <p>② 毎月の職員会議で事故防止会議を実施した。また、生徒の特別指導期間中に計画的な生活を意識させるため日誌等の改訂を行った。</p>	<p>① 学校安全計画を基に授業や行事等の安全指導を確認し、緊急時に対応できるよう手動充電型のラジオ付ランタンや懐中電灯の整備をする等、教育環境の整備を図っていく。</p> <p>② 事故・不祥事ゼロを目指し職員の意識向上を行うとともに起案書類等の保存場所や保存期間の再確認を行った。</p>	<p>・安心・安全な学校づくりに向けて取り組んでいる。今後、非常時の対応なども含めて取組を充実させていってほしい。</p>	<p>①② 事故防止の研修会を職員会議ごとに実施し、職員の意識向上を図る取組を継続して行った。</p>	<p>① 緊急対応時の職員役割分担を再確認し、安全な教育環境の維持をさらに進めていく。</p> <p>② 教育課題・学校課題を職員が自ら発見し取り組むために情報共有と研修を活性化させる。</p>